

令和6年度「救急・災害を考える集い」反省会結果について

と き 令和6年10月24日（木）午後2時～2時50分

ところ 医師会館3階講堂

出席者 別紙のとおり

協議事項

1. 令和6年度「救急・災害を考える集い」について

と き R6.9.8（日） 午後12時30分～

ところ 伊勢市防災センター 参加人員 約800名

事務局から、資料の説明、アンケートの主な項目を紹介した。

次いで、消防、各市町から参加エリアでの気づき等について提案された。

<主な事項>

- ・受付が1か所で、説明を求める市民が多く、的確に対応できない。できれば2か所にしてほしい。送迎バスが到着すると混雑が増す。
- ・リピーターの方が多く、防災意識の高まりが感じられた。
- ・来場者の年齢が均等になっているのがよい。
- ・会場案内、開催時間、開催場所等の質問を受けるので、説明しやすくしてほしい。
- ・会場内のイベント開始時間が様々なため、開始時間、場所の質問を多くいただいた。
- ・胸骨の圧迫訓練等救急処置の関心が高かった。
- ・災害が主流となっているが、休日診療所の説明等救急医療の問い合わせも多くいただいた。
- ・市民から具体的な救急備蓄品に関する質問を多くいただいた。
- ・展示も必要だが、体験スペースが重要と感じた。
- ・普段できない衛生管理について説明ができ、効果があった。

※総じて、この集いも市民に定着しており、また家族グループの参加が多く、救急・災害、防災の意識向上に貢献している。

2. 令和7年度「救急・災害を考える集い」について

と き R7. 9. 7（日）午後12時30分～

ところ 伊勢市防災センター

○令和7年度開催について次のような意見交換がされた。

主な事項

- ・9月初旬の暑さが厳しいため、講演とイベントを分けて10月にイベント、9月に講演を企画する方法もある。
- ・9月9日が救急の日として国も啓発している。この付近の日程で何かを企画する必要がある。
- ・熱中症のリスクを考えると、イベントは涼しい季節が望ましい。
- ・10月、11月は伊勢まつり、防災訓練、運動会、文化祭等行事があり、職員の対応も難しく、また市民の参加も限定される。
- ・9月上旬は比較的行事が少なく、救急のイベントをするには都合がよい。また市民に定着している。

※令和7年度も防災センターを予約し、イベントは救急処置等を充実する方向で進める。講演については、会場のレイアウトもあり、講師、講演内容等検討し、協議をしていきたい。